

第5回龍郷町子ども博物学士講座

五感で感じる奄美の森



第5回子ども博物学士講座は「五感で感じる奄美の森」と題し、奄美自然観察森指導員の川畑 力さん、納 明朗さんを講師にお迎えし、12月17日(土)奄美自然観察の森にて実施しました。

生憎の雨模様となりましたが、「雨の中、奄美の森に入ったことがありますか・・・」という問いかけで始まり、講師の川畑さんが、「普段は気づかないものを、五感(視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚)を働かせ探してみよう」と呼びかけました。参加した子供たちは、雨や風の音を聞きながらシイの実を食べたり、池の中のシリケンイモリを観察したり、大きなクワズイモの葉に触れたり、森を探索しました。講座に参加した秋名小2年の楠元 杏さんは「アコウの木がほかの木を根っこでしめころしていたのでびっくりしました。シマのハツパは食べれないと思ったら食べれるハツパもあるんだ知りました」と感想を述べました。講座の最後に川畑さんは「海も山も川もすべてつながっている。一人一人が自然を守るために出来ることを実践し、豊かな自然を未来へつないでいこう」と語りかけました。次回の講座は2月4日(土)歴史編を予定していますので、たくさんの参加をお待ちしております。

参加者(計64名: 児童35名・保護者27名・未就学2名)